

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関  
 (手術により精子の採取を行う医療機関)における情報提供様式(必須記載)

医療機関名: 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

配置人員 (※1)	泌尿器科専門医		( 2 ) 名
	うち、生殖医療専門医		( 1 ) 名
	看護師(特定不妊治療に従事している人員)		( 0 ) 名
	コーディネーター(特定不妊治療に従事している人員)		( 0 ) 名
	カウンセラー(特定不妊治療に従事している人員)		( 0 ) 名
治療内容 (※2)	治療の種類	年間実施件数 ( 2020 年度)	費用
	精巣内精子回収術	( 40 ) 件	( 305,000 ) 円
実施事項	医療安全管理体制が確保されている		
	①	医療に係る安全管理のための指針を整備し、医療機関内に掲げている	(はい/いいえ)
	②	医療に係る安全管理のための委員会を設置し、安全管理の現状を把握している	(はい/いいえ)
	③	医療に係る安全管理のための職員研修を定期的に行っている	(はい/いいえ)
	④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策を講じている	(はい/いいえ)
	⑤	自医療機関において保存されている精子の保存管理及び記録を安全管理の観点から適切に行っている	(はい/いいえ/保存なし)
	倫理委員会を設置している ※委員構成等については、公益社団法人日本産科婦人科学会の会告「生殖補助医療実施医療機関の登録と報告に関する見解」に準ずる		(はい/いいえ) ※臨床研究として、名古屋市立大学の倫理委員会の了承を得ています。
	公益財団法人日本医療機能評価機構の実施する医療事故情報収集等事業に登録・参加している		(はい/いいえ)
	不妊治療にかかる記録については、保存期間を20年以上としている(開院してから20年経過していない場合は開院からの期間)		(はい/いいえ)
里親・特別養子縁組制度の普及啓発等や関係者との連携を実施している		(はい/いいえ)	

毎年3月1日時点の状況について記載すること。

ただし、「年間実施件数」については、記載可能な直近の1年間のものを記載すること。

(※1)

- ・不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件に関する指針(別紙1-2)の「実施医療機関の配置すべき人員の基準」を遵守し、正確に記載すること。
- ・人員の算出は、常勤換算で行うこと。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している医師を常勤医師とし、その他は非常勤医師として常勤換算する。(医療法第25条第1項)

- ・コーディネーターおよびカウンセラーについては、泌尿器科専門医・看護師が兼務する場合には、コーディネーターおよびカウンセラーには含めないこと。

(※2)

- ・精巣内精子回収術は、SimpleTESEをさす。費用については、手術にかかる標準的な費用を記載すること。